

石川県スポーツトレーナー連絡協議会

令和2年度 第7回理事会 議事録

日 時：令和2年12月15日（火） 20時～20時54分

会 場：オンライン会議

出席者：北岡克彦、河合甚敏、常盤和成、田中良和、宮川巖幸、定池 寿、守山成則、
俵 大輔、橋場貴史、西本正幸、石川真依子、吉本真樹

－12名－（会長、監事、理事8名）

《議 題》

報告事項 1；第6回理事会議事録

田中理事（総務部長）より、令和2年度 第6回理事会議事録がメールにて送付済みと報告。

報告事項 2；会計報告

宮川理事（会計）より資料に沿って12月期の収支報告があり承認。

田中理事より、スポーツナースフォローアップ研修の参加者がもう1名希望者がいるが、確認するとの話しがあった。

協議事項 1；令和2年度総会・講演会について

田中理事より、講演会講師の黒島先生と美川中学校長宛に講師依頼状を発送と報告。

協議事項 2；津幡町地域スポーツ指導者養成講習会の講師派遣について

田中理事より、津幡町体育協会より標記講習会の講師依頼状が届き、例年通り、俵理事（学術部長）に依頼。講師は俵理事で承認。

宮川理事より、講師謝礼は例年通り15000円、資機材等の経費は後日請求でよいかとの確認があり承認。

協議事項 3；JSPO-AT養成講習会について

橋場理事より、JSPO-AT連絡会議が開催。本年度の講習会中止に伴い、来年度の開催方法については現在未定で決定次第連絡すると報告。

また、北信越ブロックのAT研修会（富山県開催）は、今年度は中止となったと報告。来年度も引き続き富山県開催。

感染症下でのトレーナー活動の指針の参考として（公財）日本水泳連盟 医事委員会作成のトレーナー活動感染対策ガイドラインを送付したので参考にしてほしいとの話しがあった。

今年度の本会からの養成講習会の推薦について河合監事より質問があり、そのあたりも含め、まだJSPOの決定があり次第、報告して対応していきたいとの橋場理事の回答。

協議事項 4 ; その他について

・能登高校アーチェリー部トレーナー依頼の件

守山理事（トレーナー部長）より、先方は能登地区在住のトレーナーを希望。一度、会員全員へ案内を送付して募集を募ることに決定。募集文章作成は守山理事。

・石川県民体育大会の本会参加の件

田中理事より、前回理事会での事項を県体協の勝田氏に質問。これまでは各競技団体や市町村に救護活動に関する費用を渡して、救護については全面的に任せていた。実情は、教護を手配できない競技が多くあり、それについては今後、県体協から看護師を派遣する形となった。

その中で本会が看護師とともに活動できる可能性はあるかと聞いたところ、約 50 競技全てに公平に話をしないといけないこと、資金的に現状と同様の待遇を行うと（約 50 競技、3 会場、2 日間、トレーナー1 名、日当が 1 万円ほど）予算付けするのは難しいのではとの話。

守山理事より、救護（看護師）は予算付けがあったということで理解した。

橋場理事より、予算付けできないと事業とはならないのではないかと。予算付けを行うために誰と交渉していけばいいのか。本会から石体協へ要望書を出すのか。こちらがどうしたいのかを決めておく必要はないかとの話があった。

まず県、協議団体、市町村などのルールや規約上、救護は医師や看護師となっているならそこに入れてもらう必要があること、予算的にも厳しいこと、救護なので全てに配置する前提で考えると人的パワーが足りないことなど課題は多い。

常盤理事長より、すぐに参入は難しいが、県の事業でもあるので何とか本会の存在価値を活かす意味でも、どんな形で参加できるか分からないが前向きに協議していきたいとの話があった。また、津幡町体協でいい関係作りができています。あまり話しが進まないのであれば政治を利用する方法もあるとの話があった。

・JSPO-AT の資格を取得すると救命救急の資格もついてくるのか

守山理事より質問。橋場理事より、救命救急の資格は別に取得する必要がある。また更新時においても救命救急の資格を更新しておくことが必須条件との回答。

河合監事より、本会が日赤に講師派遣を要請し救命救急の講習会を実施することも方法ではないかとの提案があった。

守山理事より、本会で実施企画できれば資格取得のハードルも低くなり、信頼性も増す。また将来的にはお金に繋がり国体トレーナー派遣の費用なども捻出できるようになればとの思案もあるので話し合いの場を設けて欲しいとの意見。

協議事項は全て終了。次回、令和 2 年度第 8 回理事会を令和 3 年 1 月 19 日（火）20 時からと決定し第 7 回理事会は終了。

（議事録作成：田中良和〈総務部〉）